

# いずみ

発行所 福井県大野郡和泉村公民館  
印刷所 松浦印刷所

## 一月強調目標

◆健全 娛樂  
災害くんであけられた六一を忘れて、楽しくゆかいな良い娛樂で、皆様の家庭もあかるくお正月を過ごしましょう。トバク、花札かけマージャン等は特にやめましょう。

# 社会教育の諸問題について

社会教育法に定められた社会教育とは、非常な範囲が広いものであつて、学校教育による学外の教育を除く以外で、その対象は主として青少年や一般の成年であつて国や県村にはこれら社会教育の奨励に必要な施設を作り、自らの運営を講ずるものではない。しかし東二二三キロメートル南北二二キロメートルで三三二・二六平方キロメートルに亘る実に広大な地域に部落が存在している事は、一に

社会教育の推進の一大障害に止どまらず行政上の難事である。茲に資料の整備も常論上考ふる必要以上の量を必要とし、従つてこれらに附帯する予算消費について各分館は勿論、社会教育諸団体の活動を助長するに充分なる結果が得られず、ものたりなきを痛感する次第である。

本館一、分館一二という数は之又前述の問題と同様であり、而も独立施設のない事に加え、これら社会教育の推進の中心となるべき指導者が兼務職員一名のみでは分館長、各分館の運営委員各位に對し必然的に責任を転換するが如き状態となるのであつて、その効果の多くを望むを得ないのも又当然である。

又九月十五日襲来の第二室戸台風は、又々本村に激甚なる被害を与え、史上最大といわれた伊勢湾台風及び三十五年災害の完全復旧も後一息のところである。この間の苦しきは、今更こゝに繰り返すまでもなく、余りにも

深刻でありました。しかし、これ等の一切は、一賜来福と共に、すべて過去のものと忘れ去つて、「一年の計は元日にあり」と言う古人の金言にならつて、身も心も更けに又一新と極まることなき希望を求め、生活も事業も趣味も娛樂も道徳も政治も一切のものを新しく立案し実行しようではありませんか。何れにせよ、途は険しく、又遠い。我々五千の村民は益々団結を固め、累積する課題に全力を挙げて対決し、平和な楽土の再建が出来ますよう願ひ、年頭の御挨拶といたします。

昨年はおトバイ一〇〇台、自動車二六台増加し、交通は殆んど機械化して自転車は子供の玩具化しました。然し反面交通事故は多くなり一名の死者を出す不詳事は発生しました。又新しい国民年金の加入も順調に進み九〇％を超える好成绩をあげています。納税面に於ても村税調定額一、八二二、一五〇円に対して九一・七五％、保険税も八〇八、三二二円の調定額に対し九九・五二％と殆んど完納に近い状態で、皆さんの深い御理解の賜と係員は感謝いたします。

## 公正な村政運営 和泉村議会議長 谷口豊成



和泉村議会議長 谷口豊成

昭和三十年の新春を迎えるに当り、謹んでおよろこび申し上げます。御承知のとおり本村は過去数年に亘り電源開発問題に對処し、又連続三年の大災害に遭遇して危念存亡の中に新年を迎えたのであります。「今年こそは」電源開発問題と災害復旧事業についてはその重要性にかんがみ、老骨にムチを打ちあらゆる努力をおしまない所存であります。

た巷の声までも聴取して議会活動の中に取入れ、常に皆さんの福祉を念じ、幸福になることを調査研究し、厳正公平を期して行きたいと思ひますから、皆さんの強力な御支援を御願ひします。以上所感を述べて新年の御挨拶と致します。

林道の復旧についても係員は極力努力しているのですが、予期せぬ事故が突発して遅れ勝ちで皆さんに御迷惑をお掛けしてはなりません。ビニエスの立派な橋が九橋、その他五百万円余りの工事が完成しました。後一年御辛棒願ひは八割程度の復旧が出来ると思ひます。

# 謹賀新年元旦

社会教育法に定められた社会教育とは、非常な範囲が広いものであつて、学校教育による学外の教育を除く以外で、その対象は主として青少年や一般の成年であつて国や県村にはこれら社会教育の奨励に必要な施設を作り、自らの運営を講ずるものではない。しかし東二二三キロメートル南北二二キロメートルで三三二・二六平方キロメートルに亘る実に広大な地域に部落が存在している事は、一に

社会教育の推進の一大障害に止どまらず行政上の難事である。茲に資料の整備も常論上考ふる必要以上の量を必要とし、従つてこれらに附帯する予算消費について各分館は勿論、社会教育諸団体の活動を助長するに充分なる結果が得られず、ものたりなきを痛感する次第である。

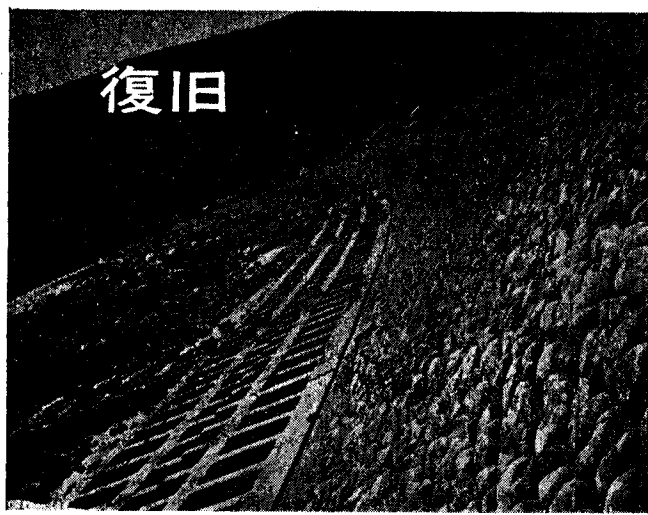
本館一、分館一二という数は之又前述の問題と同様であり、而も独立施設のない事に加え、これら社会教育の推進の中心となるべき指導者が兼務職員一名のみでは分館長、各分館の運営委員各位に對し必然的に責任を転換するが如き状態となるのであつて、その効果の多くを望むを得ないのも又当然である。

又九月十五日襲来の第二室戸台風は、又々本村に激甚なる被害を与え、史上最大といわれた伊勢湾台風及び三十五年災害の完全復旧も後一息のところである。この間の苦しきは、今更こゝに繰り返すまでもなく、余りにも

深刻でありました。しかし、これ等の一切は、一賜来福と共に、すべて過去のものと忘れ去つて、「一年の計は元日にあり」と言う古人の金言にならつて、身も心も更けに又一新と極まることなき希望を求め、生活も事業も趣味も娛樂も道徳も政治も一切のものを新しく立案し実行しようではありませんか。何れにせよ、途は険しく、又遠い。我々五千の村民は益々団結を固め、累積する課題に全力を挙げて対決し、平和な楽土の再建が出来ますよう願ひ、年頭の御挨拶といたします。

昨年はおトバイ一〇〇台、自動車二六台増加し、交通は殆んど機械化して自転車は子供の玩具化しました。然し反面交通事故は多くなり一名の死者を出す不詳事は発生しました。又新しい国民年金の加入も順調に進み九〇％を超える好成绩をあげています。納税面に於ても村税調定額一、八二二、一五〇円に対して九一・七五％、保険税も八〇八、三二二円の調定額に対し九九・五二％と殆んど完納に近い状態で、皆さんの深い御理解の賜と係員は感謝いたします。

林道の復旧についても係員は極力努力しているのですが、予期せぬ事故が突発して遅れ勝ちで皆さんに御迷惑をお掛けしてはなりません。ビニエスの立派な橋が九橋、その他五百万円余りの工事が完成しました。後一年御辛棒願ひは八割程度の復旧が出来ると思ひます。



復旧されつつある朝日堤防

御勅題 土 謹詠 石神楽山  
とこしえにみのりはゆたか  
稲の穂の  
秋津の島は土かほるらん  
平凡な山里のお正月には、取立てて書く珍しい事はな  
い、寒村には寒村なりに昔からのしきたりもある。松の内の行事

昭和三十七年を迎えて  
石神楽山  
は都会も田舎も大体に於て相違はないと思ひます。一茶の句に「ともかくもあなたまかせの年の暮」を思ひだし、私は年の暮ばかりでなく、年中この主観で暮らしてまいりました。昭和三十六年は夢の如くまたたく間に

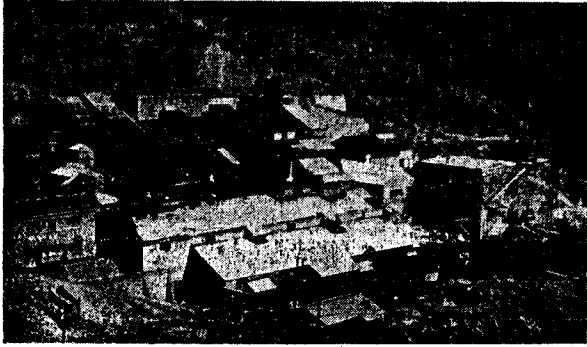
過ぎ去り、昭和三十七年壬寅の年を迎え、恭賀新禧の辞とし皆様の御幸福をお祈りします。子供の頃はもういくつねとお正月になるかとまじこがれますが、五十才を過ぎると「アツ」という内に早や正月になったと申し、日月流水の

御勅題 土 謹詠 石神楽山  
とこしえにみのりはゆたか  
稲の穂の  
秋津の島は土かほるらん  
平凡な山里のお正月には、取立てて書く珍しい事はな  
い、寒村には寒村なりに昔からのしきたりもある。松の内の行事

鬼に笑われて  
中龍句会  
新春の装いと共に悲壮なまじの覚悟するのは、決して私一人ではありませぬ。凡庸に目を重ね、

鬼に笑われて  
中龍句会  
新春の装いと共に悲壮なまじの覚悟するのは、決して私一人ではありませぬ。凡庸に目を重ね、

# おらが村にも全国第3位



あけまして、おめでとござい  
ます。  
中電鋳業所（日本亜鉛鋳業株式  
会社）（製品：鉛・亜鉛精鉱）は、  
昨年の十月で再開十周年を迎えま  
した。再開当時の従業員百二十人  
粗産日産百五十トンが、現在では  
四百八十五人、六百五十トンと飛  
躍的に躍進し、社宅も鉄筋コンク  
リート三階建てアパート二棟を含  
めて、三百四十二戸を数えます。  
全国的な亜鉛産出量は昭和三十  
五年度の事業所別では、神岡（三  
井）細倉（三菱）に次いで第三位  
会社別では第五位となつていま  
す。昨年度から貿易の自由化に備え、  
企業の合理化を図るとともに、十  
分な鉱量に恵まれ、鉛・亜鉛の粗  
下、建設のつち音こだまする選鉱  
場付近。

## 躍進する中電鋳業所

千トン増産計画と  
さらに新規事業も

## 年頭のごあいさつ

謹んで新年の御祝詞を  
申し上げます。  
合併新村の一大躍進計  
画の前に、不測の天災或  
は人為による異変及び新  
事業が連続発生し、建設  
をはぐんで居ることは実  
に残念であります。今年  
こそ虎の猛威にあやかつ  
て急転直下解決し、諸般  
の村政上の重要事項が軌道に乗り  
明るく大きく発展する和泉村建設  
の鐘音がこたまして真に意義ある  
一年でありますよう、すがすがし  
い元旦を迎え敬虔な祈を捧げる次  
第であります。  
ところで本紙「いずみ」は合併  
の翌年九月初版以来、毎月四重  
ねて五十二回公民館広報紙として  
編集発行して参つたのであります  
その間社会教育の一環として発行  
する本紙の使命を充分生かす為  
取材の方法等にも苦慮しつゝ、色  
編集委員各位の並々ならぬご努力  
を賜り、限られた予算と紙面の範  
囲に於て企画の刷新をはかり内容  
の幅と深みを加え、躍進和泉村の  
指針として常に村民の皆様の生活  
の中にある「いずみ」となるよう  
研究と努力を願ひたいと思ひます  
（写真は「いずみ」編集委員の顔  
ぶれ）

## 村民の指針となるよう

和泉村公民館 山本清孝

## 千トン増産計画の概要について

日産千トン増産計画は、中山坑  
の合理化による日産七百五十ト  
ンと、新たに南仙翁坑開発による二  
百五十トンと、合せて昭和三十九  
年度から千トンとする計画で、ま  
ず中山坑は三十七年度七百五十  
三十八年度以降七百五十トンと  
南仙翁坑は三十九年度二百五十  
トンと漸次増産体制を整え、その  
間に選鉱場の拡張ならびに、その  
の付帯工事を実施していく計画で  
概要次のとおりです。  
一、中山坑の七百五十トン出鉱は  
全量坑内クラッシュで、一次  
破碎を行ない、スキップで巻き  
上げるための能力を増強し  
四トン積みグラブ型鉱車で  
出鉱し運搬の合理化を図ると  
もに、坑内の掘進、切り羽運搬

## 農業講座

近年、農業と他産業の所得差が  
だんじつ広がつて来ている事を皆さん  
もマスコミを通じて、あるいは自  
分の目、耳で見たり聞いたりして  
いる事と存じます。  
現在農業の近代化がさげばれて  
おります。しかしながら施設投資  
生活水準の向上は必然的なもので  
このこと以外に所得の低滞に導く  
要因がある事を見逃してはなりま  
せん。農業の近代化が要求されて  
いるに拘らず、これをとりまく諸

## 今後の農業は どうあるべきか

制度（農地法、農協法、農業教育  
等）が小規模経営に適したように  
作られております。まずこれらを改  
変する事が大切です。しかし農業  
基本法へ打ち出され漸次改革され  
る事は当然だと思ひます。  
とかく人口の減少を続ける農村

## 新時代を築く 成人者八十八名

- 社会人としての第一歩をふみ出  
される皆様には心からお祝い申上  
げます。皆様はこれからの新しい  
時代、社会を築きあげていく大き  
な任務と責任が待ち構えているこ  
とを自覚し、雄々しく前進されん  
ことを期待いたします。
- |                |  |   |                |
|----------------|--|---|----------------|
| 長谷川一男<br>(下半原) | 中川ヨシユ<br>石神 峯雄<br>林 明美<br>石神万亀子<br>(荷 暮) | 中野 征治<br>林 一美<br>石神さよ子<br>(三島 光男<br>島坂さち子<br>野村 勝美<br>(箱ヶ瀬) | 野村 勝美<br>池田 達雄 |
|----------------|--|---|----------------|

ロリー電車で四トン積みグラブ  
型鉱車で運搬する。  
三、選鉱場は、変電所東側に受け  
入れ粗鉱舎を新設し、坑内で一  
時破碎された鉱石をグラブ型  
型鉱車で、直接受け入れられる  
ようにし、現在の手選および  
第二次破碎場を、新設受け入れ  
粗鉱舎に隣接して移転し、第二  
次破碎場とは、ま（磨）鉱場  
を拡張する浮選場拡張のため、  
現脱水工場を現在の建物の外に  
独立して移転し、そのあとへ浮  
選機を増設する。既設浮選場は  
鉛および南仙翁坑に含まれてい  
る銅、モリブデンの採取のため  
系統替えを行ないそのまま使用  
する。なお、選鉱場はこの機会  
に主要部分を鉄骨化する。  
四、その他付帯工事として  
①第一機械工場は、重機物運搬  
あるいは、冬期間修理工場とし  
て適当でないので、新設受け入  
れ粗鉱舎の下に移転し、建物は  
そのまま残し、冬期亜鉛精鉱の  
貯蔵舎として使用する。  
②社宅会館の新築計画など。

- |                           |  |  |                |   |                |                |                                 |                         |                |                         |       |
|---------------------------|--|--|----------------|---|----------------|----------------|---------------------------------|-------------------------|----------------|-------------------------|-------|
| 水月 一日信吉<br>永瀬 敏昭<br>(持 穴) | 中谷 一美<br>池尾 敏彦<br>芝島喜代子<br>若山 輝子<br>樹瀬 スマ<br>小川原茂子<br>坂田一久子<br>美濃島幸恵<br>松井志寿子<br>(野 尻) | 大牧 五郎<br>古川真沙子<br>尾崎 公<br>小川原清美<br>(伊 勢) | 舟羽 弘昭<br>(久 沢) | 堀谷 良子<br>牧島 公幸<br>下西 静江<br>高浜 幸恵<br>(鷺) | 高島ふみ子<br>(角 野) | 木屋さみ子<br>(下 山) | 中村 政雄<br>村上 喬<br>斎藤 正一<br>(朝 白) | 谷口 弘美<br>笠島 珠子<br>(川 合) | 新井 基衛<br>(具 皿) | 中村 政幸<br>洞口 竹美<br>(伊 月) | 田中千代子 |
|---------------------------|--|--|----------------|---|----------------|----------------|---------------------------------|-------------------------|----------------|-------------------------|-------|

（後 野）  
三島 哲一 古道 衛  
（角野前坂）  
中村八千代 猿谷 文字  
佐々木孝雄  
（朝日前坂）  
三橋 陽平 坂本 義明  
須甲 一治  
（三 面）  
上村 忠彦  
（小谷堂）  
木島 浪子

児童作文  
うんどうかい  
にしたにあつろう  
きょうはうんどうかいです。あさ  
八じにはじまりました。はじめに  
たいそうをしました。ぼくは白ぐ  
みでした。いよいよ、かけっこが  
はじまりました。先生がびすとる  
をならしました。ぼくはいつしよ  
けんめいはいりました。三とう  
になりました。ごほうびにえんぴ  
つをいぼもらいました。それか  
ら、どうぶつえんのおゆうぎをし  
ました。つきにやかんつきよう  
そうをはじめました。ぼくたちは  
なかなかつれないので四とうにな  
つてしまいました。それからおや  
こたまたましました。おとうさ  
んやおあさんたちは赤ぐみでし  
ました。ぼくらは白ぐみで、ぼくら  
がしました。そのうちに、おひる  
になりました。おすしをたべ  
ました。おひるから、なかつたの  
はんぱが火じになったのでうん  
どうかいはおゆうぎになりました。

と心構えが出来ていなければ、上  
からいくら押ししても達成する事  
が出来ません。現在は米作り少々  
日稼で生計を立てている家が相当  
ありますが、皆さんも多分に不安  
を感じている事と存じます。  
新しい年を迎え心機一転して企  
業的農業へと前進しようではありませんか。各関係機関（国、県、  
村役場、農協等）に下の方から順  
次皆さんの協力たる声を反響させ  
安定した生活へと働きかけましょ  
う。

ぼくのおかあさん  
うるしさきけい  
ぼくのかあちゃん、ぼくに  
「にわとりたまごをとつて  
きなさい」といいます。ぼくは  
わとりがつくので「いや」とい  
います。まいにち、おかあさんは  
あさおこしくると、ふとんをめ  
かすので、ぼくは「ささい」とお  
こります。まいにち、ごはんをた  
べたあと、まだじかんがあるので  
こたつにはいとこられます。

かじか  
あけましてお芽出と  
うございます。かじかも人  
並に新年のよろこびを、  
冬眠の土の中でなく、紙  
上で迎えさせていただき  
ました。  
▲和泉全村民が、災害の  
あけ暮れで生活戦線に苦闘の夏期  
を過して来ましたが、積雪という  
自然の現象で小休止の形となりま  
した。天災の爪跡が雪に埋められ  
て、結構美しい村の姿に外へ出  
ました。▲冬ともなれば戸外へ出  
ず、家にとじこもり、ややもす  
れば余暇を不健康な娯楽にふけり  
すが、それがさうありたくないもの  
です。▲私は雪国でなければ出来な  
いウインター・スポーツの花形である  
スキー運動を提唱します。何も若  
人ばかりでなく老若男女すべての人  
に応じ、余暇を戸外で過ごすことが  
どれだけ精神的に、肉体的に健康  
であるか知れません。▲何百万と  
いう人達が、都会のほりの中  
におし合ひひきめき合つて死物狂  
になつて居るとき、一切を忘れて  
白雪の世界に私だけがこころや  
偉大な自然の中で活動しているこ  
とは何となく意味深いことであ  
りましょう。▲体育運動としてこ  
ころい痛い痛快な運動は少ないで  
しょう。更に精神衛生面から見て  
もどのくらい健康的であるか計り  
知れません。▲勇敢・機敏・忍耐・  
努力・快活・大きい胸のすつ  
とする形容の出来ない快活さ、殊  
に腹の底まで「雪よりも白く」潔  
められた純潔な世界そのものが、  
実に貴い宗教といえましよう。  
▲朝日・夕日、時には月光を浴び  
て何の跡形もなく処女地にスプ  
ールを印付けながらすすむとき  
の心持のよさ、もったいなさ、  
ころげて雪にまみれたまま天を仰  
ぎ見るとき、正に雑念を忘れ、自  
然に祈りたくなります。▲人間の  
平均寿命はのびる一方であるのに  
「この年になつて今更スポーツと  
は」と、思ひなされる方もありま  
しょうが、大体和泉村民は精神的に  
老化しすぎて居るのでないでしょ  
うか。▲雪国の人間は引込案で  
暗いという定評があります。それ  
は雪に負けるからでありましよう  
雪国人ほど雪に恐れ、雪にいじけ  
て居ます。雪国に生れた者のみが  
自然に得られる幸福を生かし、レ  
ジャーブームに乗つてあかるさを  
取戻し、あすの生活戦線に臨ま  
ましよう。▲この提唱は福井県で開  
催を予定されている団体へ向つて  
スキーのレベルを上げようと言つ  
つもありませんが、冬季間村民  
の精神的、肉体的健康を思うとき  
あえて望ましいものであります。

